

ゆのき

＝ 柚木みちよし議員、障害者自立支援法案の問題点を指摘 ＝

10月21日（金）柚木みちよし議員は、厚生労働委員会にて、障害者自立支援法案について質問しました。身体・知的・精神の三障害者の制度が一元化されるのは評価できても、障害者の自立を妨げる問題法案です。問題点を徹底的に指摘しました。



自立支援法の問題点を追及する柚木議員（第16委員会）

柚木みちよし議員は、身体障害をもつ中学生の前田俊彰君の要望を厚生労働大臣に向けて読み上げながら、障害を持つ方々の切実な想いとして、政府法案に反対の強い声があることを強く訴えました。また、柚木みちよし議員は、障害者の方々が病気で入院した際には、難病の方を中心としてヘルパーの付き添いが不可欠な現状にも触れ、障害者の方々の入院時には必ず付き添いを認めるよう求めました。尾辻大臣は視覚障害者の入院時に手話通訳者をつける程度のことしか回答しません。障害者の方々への取り組みが後退しています。

柚木みちよし議員は、民主党の障害者自立支援・社会参加促進法案の提案者として、対案づくりにかかわりました。民主党案は、現在の支援費制度を生かしながら、障害者の方々の就労や社会参加に重点を置いて、さらに障害者の方々の生活の質を高めることを意図しています。

政府の障害者自立支援法案は、身体・知的・精神障害者の制度を一元化し、就労支援を拡充するなど評価できる部分もありますが、負担増によって自立・社会参加を抑える問題点があります。障害者の方々の自立とは、自分の裁量でものごとを決め、施設から出て自宅や地域で暮らすということに他なりません。しかし、政府案は外出時にヘルパーをつけることを制限したり、病院や施設を出てグループホームに入りたいと思っても、グループホームへ支援を減らしたりするなど、障害者の自立支援を後退させるものです。

通常定価1部100円(消費税込み) 年間購読料3,000円(送料含む)

平成9年4月25日 第3種郵便物認可

The Democratic Party of Japan

民主
PRESS MINSHU

号 外

民主党プレス民主編集部
〒100-1014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代)

民主党岡山県第4区総支部
〒710-0833
岡山県倉敷市西中新田548
電話 086-430-2355
FAX 086-430-2266
電子メール yunoki@yuzu.jp
ホームページ <http://www.yuzu.jp/>